

2021年 3月19日(金)

みらいの扉

高等特別支援学校 支援部 第141号



## 令和2年度を振り返って



1学期は“学習目標の変更”をテーマにお話させていただきました。小中学校の時より基礎学力を積み上げての現在があると思います。保護者の方々は今までの経験の中で、学校ではプリントや宿題などで基礎学力をコツコツ積み重ねることが大切とお感じになってきたことでしょう。しかし、ここで学習目標の変更があります。この3年間はソーシャルスキルやライフスキルを中心にした、社会の中で生きていく実践的な力を基礎学力の土台の上に作っていきましょう。漢字や計算ができることも大切ですが、社会に出るにあたっては、自分の気持ちを上手に伝えるコミュニケーションの力や整った生活習慣の方が身を助けていきます。

2学期は“変化する関わり”を中心にお話させていただきました。

「えらかった!」「すごい!」と分かりやすく元気になるほめ言葉で伝わる生徒がいます。一方、そんな大げさにほめられると恥ずかしいという反応を示す生徒もいます。(鬼滅の刃の伊之助のように、ほめられ慣れていなくてどうしているのか分からず戸惑い、結果、不思議な反応になる生徒もいます。)授業をしていると、同じ年齢でも様々な発達段階にいる生徒達に気付きます。みんな自分の発達段階で生きています。

子どもは伸び盛り。保護者の方は、その成長に合わせた支援は変化していくものと分かってはいるものの難しいとお感じになっているのではないのでしょうか。

今年度の“未来への扉”の感想や、来年度の「未来への扉」にリクエストがございましたら支援部までお知らせ下さい。1年間ありがとうございました。

I. Y

今年度から本校に赴任し、支援部に所属させていただきました。初めての環境で慣れていない1年生と同じ中で、一緒に学ぶことのできた1年間だったと思います。今年度の初めはコロナウイルスの影響で入学後もすぐに登校はできませんでした。そうした中でも、柔軟に対応してくれた生徒たちには感謝しています。今では、生徒たち同士の関わりも増え、協力し合うことも多くなりました。これから先も予測がつかないことも、周囲と助け合えるようになってもらいたいと思います。1年間ありがとうございました!

1学年支援部 H. T

はじめて支援部に所属し、あっという間の1年間でした。今年度は何といてもコロナウイルス感染予防対策に追われた1年でしたね。でも、本校生徒は、本当に真面目で素直な性格なので予防対策のルールもしっかりと守り、体育大会や文化祭などの大きな行事も無事に終えることができました。私自身も今年学んだことを来年度に活かせるように頑張っていますので、26期・27期生のみなさんも「就職し、働き続ける」ために一日一日頑張ってください。

1年間ありがとうございました。

2学年支援部 M. T

1年間支援部でお世話になりました。コロナ禍の中でも、3年生は体育大会や文化祭などの一つの行事に全力で取り組み、最後の学校生活は充実したものとなりました。また、就労に向けては、挨拶や身だしなみを整えること、清掃ができていること等の大切さを改めて感じました。普段の取り組みが、いつでもしっかりできていることが、生徒たちの自信になり自己肯定感につながっていくのだと思います。これからも生徒たちと共に、「なりたい自分になる」自己実現できるように頑張っていきます。1年間ありがとうございました。

3学年支援部 A. H

困っている時に”自分の力だけで何とかしないと!”とっていると、どんどん苦しくなってしまうことがあります。さて、どうしましょう…?自分が思っている以上に、周りには力を貸してくれる人がいます。それに気づいて「助けてほしい」と言えたら、生きていくのはずっと楽になるかもしれません。この1年間、私もたくさんの人に力をもらい、助けてもらいました。もらったものを返していけるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

養護教諭 O. H

今年度から支援部に所属し、通信の未来への扉では『うちの先生』のコーナーを担当しました。聞き取りの中で「え、そんなんでできるんですか。」と普段、学校では見せない驚くような特技や「そのような人生を歩んでこられて今があるんですね。」と人とのつながり方や生き方について私自身、学ぶことがたくさんありました。

来年度も、コロナに負けない予防を徹底して「今日も100%、力を出し切った。めっちゃ疲れたけど楽しかったなあ。」と感じる日々を“うちの先生”と一緒に過ごしていきましょう。

支援部 N. K